

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 ICU 入室後 48 時間以内の早期経腸栄養開始に向けたプロトコール導入前後の比較』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 ICU 職位・氏名 看護師 佐藤萌々

【試料・情報の利用目的】

早期経腸栄養とは、集中治療室(以下 ICU)へ入室後 48 時間以内に経腸栄養を開始する栄養療法です。経腸栄養とは腸管を通して栄養の摂取を行うことであり、口から食物を摂取する「経口栄養」とチューブなどを通して栄養を流す「経管栄養」の二種類に分けられます。集中的な治療を必要とするような高度な侵襲を受けた患者さんについては、全身の状態が安定し次第、48 時間以内に経腸栄養を開始することが、感染症を減らしたり、ICU の入室期間を短くさせるという研究結果が出ています。東邦大学医療センター大橋病院の ICU では、2023 年 6 月頃より早期経腸栄養開始に向けた手順書(以下プロトコールとする)を作成するなど看護師を中心に多職種で様々な取り組みを行っています。

本研究は前述した ICU 入室後 48 時間以内の早期経腸栄養開始に向けたプロトコール導入前後の比較を行うことを目的としています。東邦大学医療センター大橋病院 ICU に緊急入室した 19 歳以上の患者さん約 300 名を対象に、診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。取得する試料・情報の期間は、プロトコール導入前 2022 年 10 月～2023 年 9 月の期間とプロトコール導入後 2023 年 10 月～2024 年 9 月の期間です。これらの試料・情報を比較検討・分析することで、早期経腸栄養に対する取り組み前後での変化を評価します。この研究で得られる成果は、今後の重症患者さんの栄養管理の推進に向けた具体的な取り組みに寄与する可能性があります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 治療を受けた診療科、年齢、性別、疾患名、入院時の栄養状態、ICU 入室から経腸栄養開始までの経過時間、栄養投与の経路、栄養開始の阻害要因

試料: 本研究では試料は取得しません。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025 年 3 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他機関への提供は行いません。

【試料・情報の取得方法】

対象者:2022年10月～2024年9月までに東邦大学医療センター大橋病院 ICU に緊急で入室した19歳以上の患者さんおよそ300名

方法:診療録(カルテ)より抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院

研究代表者: 佐藤萌々 役職: 看護師

さらに東邦大学医療センター大橋病院のICU看護師2名、ICU専従医師1名、管理栄養士3名で組織します。

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 ICU看護師 佐藤萌々

ほか、ICU専従医師など6名が利用します。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 ICU看護師 佐藤萌々

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年9月30日までに下記へご連絡下さい。対象となる患者さんのご家族・ご親族からの申し出にも対応いたします。申し出のあった方の試料・情報は、利用を行いません。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 ICU

職位・氏名 看護師 佐藤萌々

電話 03-3468-1251 内線 3494